



ゆざき まりこ

湯崎 真梨子

教授

所属

食農総合研究教育センター

出身地

和歌山県海南市

出身校

- 関西学院大学
- 大阪府立大学大学院

趣味

テニス

研究テーマ（専門分野）

内発的發展、食料経済、地域資源、低炭素社会

研究概要

農村社会学、地域再生学の研究として、農村資源の保全活用について紀伊半島をフィールドに調査を重ねています。移住者や若者など次の農山村の担い手への技術伝承を目的として、耕作放棄地の再生や伝統的生業技術の実技講座、農業用水路を活用した小水力発電実験などを行ってきました。これらの地域協働活動を通じ、地域自律の方法、住民の当事者性獲得要因を研究しています。また文献に加え現場現物重視で県内の校地、神社立地の悉皆調査を続け、土地利用における先人の知恵について研究しています。

主な研究業績（論文や著書）

著書：『紀の国わたし物語』

『地産地消大学－オルタナティブ地域学の試み』、同続編および続続編

『熊野の廃校』

『紀北の廃校』

論文：「災害時孤立可能性集落の「不安」と「安心」の要因」

「那智勝浦町高津気における水管理と共同性に関する考察」

「Spread of Photovoltaic Power Generation into Farmland under the FiT System」

主な社会貢献活動（各種委員会委員）

- 和歌山県農業会議 理事および常任委員会委員
- 和歌山県固定資産評価審議会 委員
- 農林水産省「知」の集積による産学連携支援事業企画審査委員会 委員
- 国土交通省近畿ダム等管理フォローアップ委員会 委員
- 国土交通省紀の川流域懇談会 委員 など

メッセージ

熊野方面には年間30～50日は訪問し調査研究しています。和歌山新報では研究に関連して、熊野新聞では地元食について連載コラムを執筆しています。読んでみてください。